

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	キッズステーション わくわく (児童発達支援)	公表日	令和 7年 2月 1日
------	-------------------------	-----	-------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		活動に応じてスペースを調整しています。広さは十分な広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		子どもの状況に応じて職員配置ができています。	送迎職員の配置など、支援時間の職員配置に留意ながらシフトを組む。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動内容に応じて環境設定を行っています。また、車椅子の方でも快適に過ごしやすいようバリアフリーやスロープを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の掃除を徹底させるとともに、感染症対策としてアルコール消毒や、換気、空気清浄機、感染症対策エアコンフィルターなど設置し管理を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		子ども達が集中して安心できる環境作り（個室対応）を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		業務改善を進めるための振り返り等を職員と行い毎日に療育に役立っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様の意向等を把握する機会を設け改善に努めています。	今後も保護者様の意向等を把握し改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員の意見等を把握する時間を設け、問題があれば話し合いを行い改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者による外部評価が行えていない為今後検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月1回の職員会議、研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				年度内にホームページ等で支援プログラムを公表します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		個別支援計画案を元に職員で会議を行い保護者のニーズや課題等を客観的に分析し計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		随時確認を行うように心がけています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		随時確認を行うように心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		専門的支援員等で活動プログラムの案を工夫しながら立てています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		活動プログラムが、固定化されないように工夫しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		当日できない日もあるが、必ず振り返りを行い情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングを行い児童発達支援計画の見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達管理責任者がサービス担当者会議や、関係機関との会議に参加しその内容を職員へ情報共有しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		必要に応じて情報共有を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		就学される小学校と必要時に入学前に会議を行い情報共有しています。また、書面で子どもの様子をお伝えしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	5		スーパーバイザーの研修を行い助言を頂き療育に役立てています。	今後は、スーパーバイザーの研修（ペアレントトレーニング）等取り入れていきたいと思っています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		今後も沢山の地域の方との交流の機会を増やしていきたいと思っています。	社会福祉協議会と連携をとり、地域参加の機会を検討しています。今後、地域の方との交流や他事業所等との機会を設け活動する機会を増やしていきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		・今後、外部講師を招いての保護者のペアレントトレーニングの研修も検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時にご説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		児童発達支援計画のご説明を保護者様へ行い内容を確認して頂き同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		LINEや電話等で子育ての悩み等ありましたら、迅速に対応しております。場合によっては、家庭訪問を行ったり支援会議をしています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		夏祭りではごきょうだいでイベントに参加された家庭もあります。	きょうだいの年齢や人数にもよるが、きょうだいで参加しやすい企画を検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		LINEや電話等で子育ての悩み等ありましたら、迅速に対応しております。場合によっては、家庭訪問を行ったり支援会議をしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		通信を月1回発行しています。緊急性を要するものは、公式ラインでお知らせなどを発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		研修でも周知し、日々、個人情報の取り扱いには十分配慮しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		特性を正しく理解し、絵カードや表情カードなどを用いて工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		夏祭りなどの行事の際に、近隣の施設と交流する機会を設けています。	今後も検討していきたいです。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		保護者へは必要に応じて、マニュアルのご説明を行っています。職員は、研修で周知しています。	いつでもマニュアルが閲覧できたり、家族に周知できるようにSNSやつうしんなど、周知方法を検討します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		必要に応じ、業務継続計画（BCP）を見直し災害時に備えています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時のアセスメント等で確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		契約時のアセスメント等で確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			安全計画を随時見直し、研修や訓練で安全管理を充実させていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			今後、非常時等の対応について通信等で周知する機会を設け、再確認をしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		職員会議でヒヤリハット報告書を確認し再発防止に向けた方策を検討しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に1回以上身体拘束・虐待防止の職員研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		現在、身体拘束を行う対象児童がいないが、社内研修で事例検討を行い備えています。		